

＜白金標準、ついに白金標準先物も 5 桁の新時代へ・・・＞



(出所：オアシス)

白金標準先物は新甫 12 月限の発会を機に、5 桁である 10000 円を超える時代へと入っている。特に WPIC、ジョンソンマッセイ社、メタルズフォーカスなどプラチナの需給バランスは 3 年連続の供給不足を指摘し、トランプ大統領は通商拡大法 232 条を使い重要鉱物に対する関税発動の懸念も燃る中で、LME から NY へ現物の移動で NY 市場には 18 トンの現物ストックが存在するなど、ロンドン市場のリースレートは依然と 10%を超える高水準を維持している。また中国商務省は 11 月 1 日から上海黄金取引所のプラチナやパラジウムに対して 13%の付加価値税を課し、ロコ・チューリッヒのプラチナ現物に比べ中国の現物価格は 350 ドルのプレミアムが存在する。また中国初のプラチナ、パラジウムの先物・オプション取引が開始された広州先物取引所のプラチナ価格は、上海黄金取引所の現物に比べ 90 元高を示すなど人気が先行しており、取組高は 7750 枚から 1 ヶ月で 52265 枚と約 7 倍に拡大するなど、世界的なプラチナ指標へ動き出している。そのため過去の 4 桁の時代背景から 2026 年は 5 桁の新時代へと移行する値動きになると見え、4 桁の価格があればロングポジションを構築するのが妥当になると思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、シグナルも上昇している。RCI では**短期**と**長期**が 90%以上を維持している。ただ日足と指数平滑移動平均線の乖離が拡大した状態であり、10000 円に向けた値動きに注意と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,076,000 円(2025 年 12 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 126,720 円(2025 年 12 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>